

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和4年度）総括表

資料 1

◆基本方針別取組状況

基本方針	取組項目数	取組項目の達成状況		主な取組内容
		◎	○	
1 みんなの様々な居場所と健康づくり	10	◎	0	高齢者の健康増進を目的とした「いきいきサロン（62か所622回）」や子育て中の親同士の交流を目的とした「子育てサロン（13か所 79回）」を実施するなど、地域の方が気軽に集うことができる居場所の創出に取り組みました。
		○	10	
		△	0	
		×	0	
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	30	◎	0	一部の町内自治会において住民主体の見守り活動が継続的に実施された他、1自治会と1地区部会エリアで生活上のちょっとしたお手伝い（ごみ出しなど）の支援を行いました。 また、一部のエリアでは敬老会などのイベントについて、時間短縮や参加者を入れ替えて行うなど、コロナウイルスの感染対策を取りながら開催しました。
		○	30	
		△	0	
		×	0	
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	8	◎	0	町内自治会及び自主防災組織で防災訓練や避難所開設訓練が実施されたほか、防災に関する講座を開催するなど、住民に対する防災に対する意識の向上に努めました。 また、警察などと連携し、防犯パトロールや防犯に関する講座を実施して、地域住民の防犯意識を高めるためにも、住民同士の防犯活動に取り組みました。
		○	8	
		△	0	
		×	0	
4		◎		
		○		
		△		
		×		
5		◎		
		○		
		△		
		×		
6		◎		
		○		
		△		
		×		
7		◎		
		○		
		△		
		×		
今年度の振り返り	48	◎	0	今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の中で直接会う機会が減少し、困りごとやニーズが今まで以上に見えづらい状況の中、各地区部会が様々な手段で地域の状況を把握し、把握した困りごとや気づきを共有するために話し合い、解決に向けて様々な工夫をしながら活動に取り組みました。
		○	48	
		△	0	
		×	0	

今後の課題と方針

少子高齢化による社会構造の変化、個人の価値観やライフスタイルの多様化等をはじめ、コロナ禍の影響も重なり、地域での人と人とのつながりや支え合う意識の希薄化が顕著となっている。

また、地域活動は再開傾向にあるが、一部の地域活動は従来どおりの方法では実施できず、いまだに停止したままの活動もある。停止期間の長期化で活動者のモチベーションが低下し、解散したり運営ノウハウが引き継がれないという課題も出ている。また、新型コロナに関しては、考え方や意識に差があるため、再開については慎重な対応が求められている。

これらの顕在化した地域課題の多くは複雑化、複合化しているため、ネットワークを活用しながら、地域の関係機関・団体と課題を共有し、解決に向けて連携・協働を図っていきたい。

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	8月10日（水）	(1) 稲毛区支え合いのまち推進協議会副委員長の選任について (2) 第5期稲毛区支え合いのまち推進計画について (3) 令和3年度の取組状況について (4) 第5期区支え合いのまち推進計画の中間見直しについて (5) 支え合いのまち稲毛（稲毛区推進協だより）について
第2回	3月2日（木）	(1) 第5期区支え合いのまち推進計画の中間見直しにおける具体的な取り組み及び活動事例について (2) 第5期区支え合いのまち推進計画の中間見直しにおける重点取組項目について

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第29号	10月1日（土）	発行部数：5,250部 主な配布先：町内自治会、図書館、公民館、コミュニティーセンター（市民センター）、あんしんケアセンター、いきいきプラザ（センター）

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

○多くの地区部会がコロナウイルスの感染状況を踏まえ、下記のように創意工夫をしながら活動に取り組みました。

- ・エリア内にある公園を活用し、近隣の高齢者等を対象としてイベント的にラジオ体操を開催した。
- ・訪問での声掛けによる方法で見守り活動を行っていたが、絵手紙での安否確認へ変更した。
- ・会議や講座、サロン（健康体操）などZoomを活用し、オンラインでの参加も出来るようにした。
- ・参加者同士の間隔を空け、座ってできる軽度な体操や脳トレをメインに行った。

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和4年度）個票

地区部会エリア	基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和4年度の目標又は予定（4期）	令和4年度の実績	達成状況	令和5年度の目標又は予定	今後の課題と方針
小中台東地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	健康づくりや介護予防の普及・啓発	地域住民を対象とした福祉講座の中で認知症に関する講座を開催する他、いきいきサロンにおいて健康づくりや介護予防についての啓発を行います。 また、開催地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会がイベント等を実施し、気軽に参加できる健康づくりや運動の機会を増やします。	地区部会があんしんケアセンターや区健康課等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロン（8か所）などを実施し健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みました。	○	地域住民を対象とした福祉講座の中で認知症に関する講座を開催する他、いきいきサロンにおいて健康づくりや介護予防についての啓発を行います。 また、開催地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会がイベント等を実施し、気軽に参加できる健康づくりや運動の機会を増やします。	コロナウイルスの影響により、活動が一部実施できなかったことから、地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと活動方法の検討や活動内容など、協議を行い、いきいきサロンにおいて健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んでいきたい。
【人口・世帯数】							
19,750人・9291世帯							
【町内自治会数】							
34町内自治会	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	あいさつから始まる地域との関わり	町内自治会や学校、青少年育成委員会、セーフティウォッチャーなどが連携・協力し、登下校時に通学路などで子どもたちへ挨拶をするとともに、防犯パトロールの際などに、住民同士のあいさつが浸透するよう努めます。 また、地域内小学校に依頼してあいさつ標語の作品募集を行い、結果を東西社協まつりや広報紙、掲示板などを活用して広めます。	近隣校（小中台小、小中台南小、園生小、柏台小）の協力を得て、あいさつをテーマにした標語作品を募集し、小中台西地区部会と共同開催する「東西社協まつり」で優秀作品の発表並びに表彰を行い、あいさつ運動に取り組みました。 また、各小学校で民生委員と青少年育成委員会が連携・協力して登下校時のあいさつ運動に取り組みました。	○	町内自治会や学校、青少年育成委員会、セーフティウォッチャーなどが連携・協力し、登下校時に通学路などで子どもたちへ挨拶をするとともに、地域のイベントや広報媒体等を通じて広報啓発を行い、あいさつ運動が地域へ浸透するよう取り組んでいきたい。	
【高齢化率】							
32.6%							
【地域の特徴】							
稲毛の北西部に位置し、小中台町、園生町の一部、宮野木町の一部、長沼町の一部を含む比較的広いエリア。 集合住宅、戸建てが混在しており、旧来からの集合住宅は独居・高齢者世帯が増加し、高齢化率も急速に進んでいる。	地域住民の参加による見守り・支え合い	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して、独居高齢者や高齢者世帯等に対し、日常的な声かけやあんしんカードの配布等を行う他、いきいきサロン参加の呼び掛けなどの機会を活用した見守り活動に取り組みます。	地区部会が独居高齢者や高齢者世帯などに対して、日常的な声かけや携帯用のあんしんカードを配布するとともに、町内自治会が独自に作成したあんしんカードを配布するなど、継続的に見守り活動に取り組みました。	○	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して、独居高齢者や高齢者世帯等に対し、日常的な声かけやあんしんカードの配布等を行うとともに、いきいきサロン参加の呼び掛けなどの機会を活用した見守り活動に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけるとともに、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。	
【地域の特徴】							
稲毛の北西部に位置し、小中台町、園生町の一部、宮野木町の一部、長沼町の一部を含む比較的広いエリア。 集合住宅、戸建てが混在しており、旧来からの集合住宅は独居・高齢者世帯が増加し、高齢化率も急速に進んでいる。							
【地域の特徴】							
稲毛の北西部に位置し、小中台町、園生町の一部、宮野木町の一部、長沼町の一部を含む比較的広いエリア。 集合住宅、戸建てが混在しており、旧来からの集合住宅は独居・高齢者世帯が増加し、高齢化率も急速に進んでいる。	地域での福祉教育の普及・啓発	地区部会が町内自治会や学校、各種活動団体と連携・協力し、福祉講座を企画するなど、ボランティア活動の普及啓発に努めます。 また、サマーフェスタなどイベントの機会には近隣の小・中学校にボランティア募集を行い、ボランティア活動の実践を通じた福祉教育に取り組みます。	年度ごとにテーマを設定した地区部会主催による講座を開催することで、住民に対して地域ボランティア活動の普及・啓発に取り組みました。 また、サマーフェスタ開催時に、近隣の中学校（小中台中・朝日ヶ丘中）からボランティアとして生徒が参加し、活動を通じて福祉教育の啓発に取り組みました。	○	地区部会が町内自治会や学校、各種活動団体と連携・協力し、福祉講座を企画するなど、ボランティア活動の普及啓発に努めます。 また、サマーフェスタなどイベントの機会には近隣の小学校にボランティア募集を行い、活動を通じて福祉教育の普及・啓発に取り組みます。	地区部会が町内自治会・民児協と連携して、地域住民、エリア内の学校に対し、担い手育成のための福祉講座を開催し、福祉への醸成を図るとともに、活動場所の提供を行い、福祉教育の普及・啓発に取り組んでいきたい。	
【地域の特徴】							
稲毛の北西部に位置し、小中台町、園生町の一部、宮野木町の一部、長沼町の一部を含む比較的広いエリア。 集合住宅、戸建てが混在しており、旧来からの集合住宅は独居・高齢者世帯が増加し、高齢化率も急速に進んでいる。							
【地域の特徴】							
稲毛の北西部に位置し、小中台町、園生町の一部、宮野木町の一部、長沼町の一部を含む比較的広いエリア。 集合住宅、戸建てが混在しており、旧来からの集合住宅は独居・高齢者世帯が増加し、高齢化率も急速に進んでいる。	地域の情報の収集と発信	地区部会や町内自治会等が、地域の活動に関する情報を相互に共有するとともに、広報紙等で情報発信に取り組みます。	地区部会や町内自治会が相互に会議等へ参加し、地域活動の情報の共有に努めるとともに、地区部会が広報紙で地域住民に対して地域活動の情報発信に取り組みました。 また、地区部会が町内自治会と連携協力し、高齢者等が気軽に集える居場所づくりをテーマに情報交換会を開催するなど、情報収集などに取り組みました。	○	地区部会が町内自治会と連携・協力し、社会情勢や地域で問題・課題となっている内容をテーマとした、情報交換会（講座）を開催し情報共有を行います。 また、広報紙を通じて地域活動の情報発信に取り組みます。	引き続き、地区部会や町内自治会が相互に会議等へ参加し、地域活動の情報の共有に努めるとともに、情報交換会（講座）を通じて、関係者間で共有した情報を広報紙等を通じて地域へ発信していきたい。	
【地域の特徴】							
稲毛の北西部に位置し、小中台町、園生町の一部、宮野木町の一部、長沼町の一部を含む比較的広いエリア。 集合住宅、戸建てが混在しており、旧来からの集合住宅は独居・高齢者世帯が増加し、高齢化率も急速に進んでいる。							
【地域の特徴】							

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和4年度）個票

地区部会エリア	基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和4年度の目標又は予定（4期）	令和4年度の実績	達成状況	令和5年度の目標又は予定	今後の課題と方針			
山王地区部会	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	あいさつから始まる地域との関わり	セーフティウォッチャー、学校と更なる連携を進め、あいさつ運動を更に推進するため、青少年育成委員会や町内自治会、地区部会などの協力体制づくりを進めます。	地区部会が小学校のセーフティウォッチャーと連携し、登校時にあいさつ運動を継続実施している他、6年生を送る会開催時に安全講習会を行い、あいさつ運動について情報共有し、町内自治会に協力要請を行いました。	○	セーフティウォッチャー、学校と更なる連携を進め、あいさつ運動を更に推進するため、青少年育成委員会や町内自治会、地区部会などの協力体制づくりを進めます。	継続して、児童・生徒への登下校時や防犯パトロール時のあいさつ運動を行うため、青少年育成委員会や町内自治会などの関係団体と連携を図るとともに、活動を通じて、住民同士のあいさつ運動の浸透に取り組んでいきたい。			
【人口・世帯数】			地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	16,798人・4,886世帯	地区部会や町内自治会、地域の各種活動団体等が連携・協力し、夏まつりやお楽しみ会など幅広い世代が参加交流できる場づくりに取り組むとともに、各イベントにおいて子育てサロンへの参加を促し、子育て世代との地域交流を進めます。	地区部会が町内自治会や地域の関係団体と連携・協力して、いきいきサロン（5会場）、夏祭りや敬老会、地域の合同運動会などのイベントを実施し、多くの地域住民の参加・交流の場づくりに取り組みました。	○	地区部会や町内自治会、地域の各種活動団体等が連携・協力し、夏まつりやお楽しみ会など幅広い世代が参加交流できる場づくりに取り組みます。	引き続き、既存の地域活動を継続するため、各種活動団体が、相互に連携・協力し、開催内容を充実させるなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んでいきたい。	
【町内自治会数】				11町内自治会	地域で活動している人・組織同士の連携・協力	地区部会や町内自治会、民児協、学校、公民館などがイベントや地域活動の際に情報共有を行い、相互の連携・協力体制づくりに努めます。特に、あいさつ運動を中心に青少年育成委員会とも連携して通学の安全を図っていきます。	地区部会や町内自治会、民児協、学校、公民館などが連携・協力し、各種会議や情報交換会を通じて情報を共有するとともに、地域イベントや防災講座、あいさつ運動など相互に連携・協力して活動の場づくりに取り組みました。	○	地区部会や町内自治会、民児協、学校、公民館などがイベントや地域活動の際に情報共有を行い、相互の連携・協力体制づくりに取り組みます。	町内自治会、民児協、学校など地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めていきたい。
【高齢化率】				32.2%		地区部会が町内自治会や民児協、社会福祉施設などと連携・協力し、防犯パトロールを活用した見守り活動や、買い物困難なひとり暮らし高齢者を対象とした買い物支援サービス「ドライブサロン」などの実施に取り組むなど、外出困難な高齢者を対象に、より丁寧な対応を進めます。	3町内自治会（山王町中央自治会、山王町南自治会、長沼原台自治会）が一人暮らし高齢者等に対して安否確認等による見守り活動に取り組みました。また、地区部会が民児協や福祉施設と連携・協力して、買い物困難な一人暮らし高齢者等を対象とした「ドライブサロン」はコロナウイルスの影響により実施には至りませんでした。	○	地区部会が町内自治会や民児協、社会福祉施設などと連携・協力し、防犯パトロールを活用した見守り活動に取り組みます。また、民児協、福祉施設と連携・協力して昨年未実施となっている買い物支援サービス「ドライブサロン」の再開に向け、協議を行います。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、担い手を確保するため、地域住民へ働きかける必要がある。
【地域の特徴】	稲毛区の北部に位置し、四街道市が隣接する、旧来からの戸建て住宅が立ち並び、区内でも高齢化率が高いエリア。 エリア内には、大型の複合施設や総合病院、県道沿いに店舗が点在している。 外出の際、公共交通機関の利用はJRの各駅までは距離があるため、バスが中心となる。	3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	地区部会が公民館と連携・協力して防災講座を継続実施すると共に、町内自治会（自主防災組織）が防災訓練や避難所開設訓練などを行う中、より多くの地域住民に参加してもらえよう日程調整をするなどし、防災に関する意識向上に取り組めます。	地区部会が公民館と共催で地域での防災講座を企画するとともに、自主防災組織での防災・避難訓練を実施した。また、町内自治会が避難行動要支援者名簿の情報提供について千葉市と協定を締結し、災害時に備え、必要な情報把握に取り組みました。	○	地区部会が公民館と連携・協力して防災に関する講座を実施し、より多くの地域住民に参加してもらえよう防災意識の向上に取り組めます。また、地区部会が防災訓練や避難所開設訓練などを行う町内自治会に対し、支援体制の構築に努めます。	地区部会を中心に防災訓練や避難訓練などの機会を活用し、住民に対して災害時に備えた危機意識向上に取り組むとともに、町内自治会と連携が図れるよう体制の構築に取り組んでいきたい。		

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和4年度）個票

地区部会エリア	基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和4年度の目標又は予定（4期）	令和4年度の実績	達成状況	令和5年度の目標又は予定	今後の課題と方針
<p>轟・穴川地区部会</p> <p>【人口・世帯数】</p> <p>11,295人・5,927世帯</p> <p>【町内自治会数】</p> <p>15町内自治会</p> <p>【高齢化率】</p> <p>23.2%</p> <p>【地域の特徴】</p> <p>稲毛区の南東に位置する、轟町・穴川・穴川町で構成され、新旧の戸建て、集合住宅が混在しているエリア。公共交通機関の利便性も比較的高くエリア内には商業施設の巡回バスやタウンバスも運行している。教育施設（大学）も多く存在し、文教のまちの呼称でも親しまれ、公共機関（教育施設、行政施設等）を内包する。</p>	<p>1 みんなの様々な居場所と健康づくり</p>	<p>健康づくりや介護予防の普及・啓発</p>	<p>地区部会が町内自治会やあんしんケアセンター等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロンを実施するなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。</p>	<p>地区部会が区健康課などと協力し地域の高齢者を対象としたいきいきサロン（5か所）において健康体操や健康相談などを実施しました。なお、コロナウイルスの影響により、6か所のサロンが休止となりました。</p>	○	<p>引き続き関係団体・機関と連携を図り、高齢者を対象としたいきいきサロンを実施するなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。</p> <p>また、昨年度休止していたサロンについては関係者間で実施方法など協議を行い、活動再開に向けて取り組みます。</p>	<p>活動が一部実施できなかったことから、活動再開に向け、地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと活動方法の検討や活動内容など、協議を行い、いきいきサロンにおいて健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んでいきたい。</p>
	<p>2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり</p>	<p>地域で活動している人・組織同士の連携・協力</p>	<p>地区部会や町内自治会、老人クラブなど各種活動団体が、地域のイベントなどを実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。</p>	<p>地区部会が、町内自治会、民児協が連携・協力して地域内8カ所で敬老会を実施した他、地域内の福祉施設からの協力も得るなど協力体制の構築に努めました。</p>	○	<p>地区部会や町内自治会、老人クラブなど各種活動団体が、地域のイベントなどを実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。</p>	<p>高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけるとともに、町内自治会、民児協、学校など地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めていきたい。</p>
	<p>3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり</p>	<p>いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催</p>	<p>地区部会が公民館と連携・協力して防災講座を継続実施すると共に、町内自治会（自主防災組織）が防災訓練や避難所開設訓練などを行い、防災に関する意識向上に取り組みます。</p>	<p>町内自治会（自主防災組織）が災害時に備え、必要な情報把握に取り組むとともに、防災・避難訓練を実施しました。</p>	○	<p>地区部会が、町内自治会、民児協と連携し、平常時から災害時要支援者の把握をするなど、災害時に迅速な支援ができるよう支援体制づくりに努めます。</p>	<p>引き続き、町内自治会自主防災組織を中心に、地域住民に対して災害時に備えた支援体制の構築に取り組む必要がある。</p> <p>また、防災に関連する講座の開催や防災訓練、避難所開設訓練などを行い、防災に関する意識向上に取り組んでいきたい。</p>

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和4年度）個票

地区部会エリア	基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和4年度の目標又は予定（4期）	令和4年度の実績	達成状況	令和5年度の目標又は予定	今後の課題と方針			
稲毛地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり	地区部会が公民館や社会福祉施設などと連携・協力し、いきいきサロンや子育てサロンを実施し、住民同士が気軽に集える居場所づくりの充実に取り組みます。	地区部会が公民館や福祉施設と連携・協力し、いきいきサロン（2ヶ所）、子育てサロン（1か所）を実施し、住民同士が身近なところで気軽に集える居場所づくりに取り組みました。	○	地区部会が公民館や社会福祉施設などと連携・協力し、いきいきサロンや子育てサロンを実施し、住民同士が気軽に集える居場所づくりの充実に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけるとともに、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。			
【人口・世帯数】			健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、いきいきサロンや散歩クラブを実施し、健康体操や健康相談を行うなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力して、高齢者を対象とした「にこにこ体操」やイベント的に散歩クラブを開催するなど、健康体操や健康相談を通じて、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みました。	○	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、いきいきサロンや散歩クラブを実施し、健康体操や健康相談を行うなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、いきいきサロンの内容について参加者のニーズを把握して実施するとともに、介護予防に関する情報を共有し、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んでいきたい。		
12,387人・6,095世帯				地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会など各種活動団体や学校、幼稚園、保育園などが連携・協力して敬老会やふれあい広場などを企画実施し、幅広い世代が交流できる場づくりに取り組みます。	コロナウイルスの影響により、地区部会が町内自治会、各種活動団体及び近隣の小・中学校と連携・協力して敬老会や、中学校の生徒を対象に子育て中の親子との交流を図るふれあい学習は中止となったが、関係者間で開催に向けて協議を行いました。	○	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会など各種活動団体や学校、幼稚園、保育園などが連携・協力して敬老会やふれあい広場などを企画実施し、幅広い世代が交流できる場づくりに取り組みます。	敬老会など、休止となっている地域イベントの再開に向け、各種活動団体が、相互に連携・協力し、開催内容・方法などについて協議を行い、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んでいきたい。	
【町内自治会数】					地域で活動している人・組織同士の連携・協力	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会、青少年育成委員会などが、地域のイベント（敬老会やふれあい広場など）を実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	コロナウイルスの影響により、地域イベントが中止となる中、地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会、青少年育成委員会などが相互に会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めました。	○	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会、青少年育成委員会などが、地域のイベント（敬老会やふれあい広場など）を実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけるとともに、町内自治会、民児協、学校など地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めていきたい。
11町内自治会						地域住民の参加による見守り・支え合い	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、いきいきサロンや散歩クラブを実施し、健康体操や健康相談を行うなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力して、高齢者を対象とした「にこにこ体操」やイベント的に散歩クラブを開催するなど、健康体操や健康相談を通じて、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みました。	○	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、いきいきサロンや散歩クラブを実施し、健康体操や健康相談を行うなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。
【高齢化率】	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して地域内のニーズを把握することに努め、見守り、支え合い活動の必要性について協議します。	地区部会が民児協や町内自治会と協力し、いきいきサロンを通じて、参加者への声かけによる見守り活動に取り組みました。	○	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して地域内のニーズを把握することに努め、見守り、支え合い活動の必要性について協議します。		高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけるとともに、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。			
【地域の特徴】		稲毛区の最南に位置し、JR稲毛駅と国道の間に新・旧の戸建て住宅が立ち並ぶ高齢化率が比較的高いエリア。 旧来からの戸建てが集中する場所は向こう三軒両隣の風習が残っていることから、地域の繋がりは強い。 移動の際の主な公共交通機関として京成線・バスの利用が可能となるが、バスルートは浅間通りに限定される。 また、商業施設はJR稲毛駅周辺に集中していることから、自前の移動手段を保有しない高齢者の利便性は低い。	健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して地域内のニーズを把握することに努め、見守り、支え合い活動の必要性について協議します。	地区部会が民児協や町内自治会と協力し、いきいきサロンを通じて、参加者への声かけによる見守り活動に取り組みました。	○	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して地域内のニーズを把握することに努め、見守り、支え合い活動の必要性について協議します。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけるとともに、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。		

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和4年度）個票

地区部会エリア	基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和4年度の目標又は予定（4期）	令和4年度の実績	達成状況	令和5年度の目標又は予定	今後の課題と方針				
稲丘地区部会	<p>1 みんなの様々な居場所と健康づくり</p>	<p>公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり</p>	<p>地区部会が町内自治会や民児協等と連携・協力し、町内自治会館において、いきいきサロンや子育てサロンを実施するなど、住民同士が集える居場所づくりに取り組みます。</p>	<p>地区部会と、町内自治会が連携・協力し、町内自治会館などにおいて、いきいきサロン（7ヶ所 95回）や子育てサロン（1ヶ所 5回）を実施し、住民同士が気軽に集える居場所づくりに取り組みました。</p>	○	<p>地区部会が町内自治会や民児協等と連携・協力し、町内自治会館等において、いきいきサロンや子育てサロンを実施するなど、引き続き住民同士が集える居場所づくりに取り組みます。</p>	<p>コロナウイルスの影響により、休止期間が長期化したことで、担い手の意欲が低下し、活動再開の妨げになっていることから、コロナ以前の状態に戻せるよう、実施方法の検討や新たな人材の発掘・育成に取り組んでいきたい。</p>				
【人口・世帯数】			12,245人・5,731世帯	<p>健康づくりや介護予防の普及・啓発</p>	<p>地区部会が、あんしんケアセンターや区健康課等と連携協力し、高齢者に対していきいきサロンを実施するなど、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。</p>	<p>地区部会が区健康課やあんしんケアセンターと連携・協力し、いきいきサロン（7ヶ所 95回）や早期ラジオ体操を実施するなど、高齢者に対して健康づくりや介護予防に取り組みました。</p>	○	<p>地区部会が、あんしんケアセンターや区健康課等と連携協力し、高齢者に対していきいきサロンを実施するなど、引き続き健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。</p>	<p>コロナウイルスの影響により、活動が一部実施できなかったことから、地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと活動方法の検討や活動内容など、協議を行い、いきいきサロンにおいて健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んでいきたい。</p>		
【町内自治会数】			7町内自治会		<p>地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流</p>	<p>地区部会や町内自治会、スポーツ振興会などが連携・協力し、イベント（敬老会、地区運動会、正月行事など）を企画実施し、住民同士が交流できる場づくり取り組みます。</p>	<p>地区部会が各町内自治会主催の敬老会の支援や、スポーツ振興会と連携し、三色対抗運動会などのイベントを企画・実施するなど、多くの地域住民が参加交流できる場づくりに取り組みました。</p>	○	<p>地区部会が町内自治会や地域の関係団体と連携しながら、状況に応じて企画・検討を行いながら、住民同士が交流できるイベント等の開催に向け取り組みます。</p>	<p>コロナウイルスの影響により、休止となっている地域イベントの再開に向け、各種活動団体が、相互に連携・協力し、開催内容・方法などについて協議を行い、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んでいきたい。</p>	
【高齢化率】			23.4%			<p>地域住民の参加による見守り・支え合い</p>	<p>地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対して、いきいきサロンやふれあい食事サービスなどを通じて声かけによる安否確認を行うなど、見守り活動に取り組みます。</p>	<p>地区部会と町内自治会が相互に連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対して、訪問やいきいきサロン等の機会を通じて声かけ、常任理事会にて情報共有を行うなど、住民同士の見守り活動に取り組みました。</p>	○	<p>地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対して、引き続き、いきいきサロンやふれあい食事サービスなどを通じて声かけによる安否確認を行うなど、見守り活動に取り組みます。</p>	<p>高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけるとともに、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。</p>
【地域の特徴】			<p>JR稲毛駅前付近は高層大規模な集合住宅が林立し、若い世代が集中して、戸建て住民を牽引する形で地域意識が好い町作りの方向に変容しつつある。</p> <p>集合住宅と戸建住宅が混在する稲毛の台地部で、快速の停車駅JR稲毛駅と、京成稲毛駅はバスの利用なしで行ける。</p> <p>エリアは7つの自治会から成るが、JR稲毛駅至近に建つ1マンション区（*）が小学校区は稲丘小、地区部会は小中台西エリアに属し、双方の地区部会活動に関わっている。</p>								
稲丘地区部会	<p>2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり</p>	<p>地域の情報の収集と発信</p>	<p>地区部会が町内自治会、民児協、関係機関等と連携協力して会議等に相互に参加し、情報を共有するとともに、広報紙等により地域の活動の情報発信に取り組みます。</p>	<p>地区部会と町内自治会、民児協、関係機関等が連携・協力することにより、会議等へ相互に参加し、情報共有を行うとともに、地域住民に対して、地区部会だよりや町内自治会の広報紙などにより、地域活動の情報発信に取り組みました。</p>	○	<p>地域の団体・関係機関が相互に会議等へ参加し、情報共有を行い、地域住民に対し地域活動等の情報発信に取り組みます。</p>	<p>各団体が、相互に連携・協力して情報を共有し、地域住民に対して広報紙等により必要とされる情報の発信に取り組むとともに、地区部会が関係団体と連携・協力して会議等に相互に参加し、情報共有を行うとともに、地域住民に対して、地区部会だよりや町内自治会の広報紙などにより、地域活動の情報発信に取り組んでいきたい。</p>				
			<p>3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり</p>	<p>いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催</p>	<p>町内自治会自主防災組織が地域住民に対して、災害時に備えて防災訓練や避難訓練を実施するなど、平常時からの防災への意識の向上に努めます。</p>	<p>各町内自治会において、地域住民を対象とした防災訓練を実施するとともに、非常食の試食会を実施するなど、住民一人ひとりの防災意識の向上に取り組みました。</p>	○	<p>地区部会が町内自治会自主防災会などと連携・協力し、避難所開設訓練等や講座を実施するなど、地域住民に対して災害時に備えた防災に関する意識の向上に取り組みます。</p>	<p>町内自治会を中心に防災訓練や避難訓練などの機会を活用し、住民に対して災害時に備えた危機意識向上に取り組むとともに、防災に関する講座を開催し、意識の向上に取り組んでいきたい。</p>		
				<p>地域住民を地域で守る取組み</p>	<p>町内自治会等が警察と連携し、地域住民の防犯意識を高めるために防犯パトロールを行うなど、住民同士の防犯活動に取り組みます。</p>	<p>一部の町内自治会が日々の防犯パトロールの他、夏休み期間中に、育成委員会、PTAが防犯パトロールを実施するなど、地域内の防犯活動に取り組みました。</p> <p>また、警察と連携して、住民に対し防犯に関するチラシを配布して、防犯意識の向上に努めました。</p>	○	<p>各町内自治会が警察と連携し、地域住民の防犯意識を高めるために防犯パトロールを行うなど、引き続き、住民同士の防犯活動に取り組みます。</p>	<p>地区部会が町内自治会や民児協、育成委員会、警察などと連携し、防犯パトロールや防犯に関する講座を実施して、地域住民の防犯意識を高めるためにも、住民同士の防犯活動に取り組んでいきたい。</p>		

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和4年度）個票

地区部会エリア	基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和4年度の目標又は予定（4期）	令和4年度の実績	達成状況	令和5年度の目標又は予定	今後の課題と方針
千草台中学校地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会が町内自治会やあんしんケアセンター、区健康課等と連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロンなどを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンター、シニアリーダー等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロン（3か所）やシニアリーダー体操（1か所）、グラウンドゴルフ大会、認知症声かけ訓練を実施するなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みました。	○	地区部会が町内自治会やあんしんケアセンター、区健康課等と連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロンなどを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、担い手を確保するため、地域住民へ働きかける必要がある。
【人口・世帯数】							
7,523人・4,806世帯							
町内自治会数	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	地区部会が町内自治会、スポーツ振興会などが連携・協力し、イベント（秋祭りや敬老会、地区運動会など）を企画実施し、幅広い世代層が交流できる場づくりに取り組みます。	地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会などが秋祭りや敬老会、地区運動会などを相互に連携・協力して、幅広い世代の参加・交流の場づくりに取り組みました。	○	地区部会が町内自治会、スポーツ振興会などが連携・協力し、イベント（秋祭りや敬老会、地区運動会など）を企画実施し、幅広い世代層が交流できる場づくりに取り組みます。	引き続き、既存の地域活動を継続するため、各種活動団体が、相互に連携・協力し、開催内容を充実させるなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んでいきたい。
8町内自治会							
高齢化率							
34.5%	3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	地域で活動している人・組織同士の連携・協力	地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会などが、イベントなどを実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会などが秋祭りや敬老会を連携・協力して、幅広い世代の参加・交流の場づくりに取り組みました。	○	地区部会や町内自治会、民児協、学校、公民館などがイベントや地域活動の際に情報共有を行い、相互の連携・協力体制づくりに取り組みます。	町内自治会、民児協、学校など地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に取り組んでいきたい。
地域の特徴							
2,000世帯から成る千草台団地を中心に新旧の戸建て、マンションが立ち並び全8町内自治会で構成されているエリア。 バスが主な移動手段となり、JR稲毛駅、千葉駅、西千葉駅の利用が可能。 駅までは距離があるが千葉都市モノレールも2駅が利用可能。 また、エリア内には生鮮食料品を扱う店舗は千草台団地内の1店舗。 前記の千草台団地の高齢化率は47%で稲毛区でも2番目に高く、エリア全体でも比較的高い数値となっている。							
町内自治会	いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	町内自治会が地域住民に対して避難訓練等を行うなど、平常時から災害時に備えた支援体制づくりに努めます。	各町内自治会（自主防災組織）で独自に防災訓練や避難訓練を実施し、災害時の支援体制づくりに取り組みました。	○	地区部会が、町内自治会、民児協と連携し、平常時から災害時要支援者の把握をするなど、災害時に迅速な支援ができるよう支援体制づくりに努めます。	地区部会を中心に防災訓練や避難訓練などの機会を活用し、住民に対して災害時に備えた危機意識向上に取り組むとともに、町内自治会と連携が図れるよう体制の構築に取り組んでいきたい。	

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和4年度）個票

地区部会エリア	基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和4年度の目標又は予定（4期）	令和4年度の実績	達成状況	令和5年度の目標又は予定	今後の課題と方針
草野地区部会 【人口・世帯数】 13,591人・6,819世帯 【町内自治会数】 21町内自治会 【高齢化率】 35.9% 【地域の特徴】 京葉道路の一部、穴川インターチェンジの一部をエリアに含み、概ねエリアの中央を走る国道16号線を境に東西へまたがり、地域には古くからの戸建て、アパート群の中に新設のマンションが建設され、新旧住民が混在している。エリア内で一番世帯数の多いあやめ台団地は高齢化が急速に進行しており、住民の半数近くは高齢者となっている。	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり	地区部会が町内自治会や民児協等と連携・協力し、町内自治会館や集会所などにおいて、いきいきサロンや子育てサロン、地域カフェを実施するなど、住民同士が集える居場所づくりに取り組みます。	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロン(12会場)や若い世代に対して子育てサロン(1会場)を継続して実施するとともに、幅広い世代が気軽に集える地域カフェを開設するなど、身近な居場所づくりに取り組みました。	○	地区部会が町内自治会や民児協等と連携・協力し、町内自治会館や集会所などにおいて、いきいきサロンや子育てサロン、地域カフェを実施するなど、住民同士が集える居場所づくりに取り組みます。	コロナウイルスの影響により、活動が一部実施できなかったことから、活動再開に向け、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。
健康づくりや介護予防の普及・啓発		地区部会があんしんケアセンターや区健康課と連携・協力し、いきいきサロンや散歩クラブなどを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	地区部会が町内自治会や民児協、区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロンや散歩クラブを継続して実施するとともに、健康講座や認知症サポーター養成講座などを実施して、健康づくりや介護予防の啓発に取り組みました。	○	地区部会があんしんケアセンターや区健康課と連携・協力し、いきいきサロンや散歩クラブなどを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	コロナウイルスの影響により、活動が一部実施できなかったことから、地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと活動方法について検討を行い、いきいきサロン等において健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んでいきたい。	
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり		地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	町内自治会やスポーツ振興会、青少年育成委員会などが連携協力し、イベント(夏祭りやラジオ体操、敬老会、地区運動会など)を企画実施するなど、幅広い世代が交流できる場づくり取り組みます。	一部の町内自治会がスポーツ振興会や青少年育成委員会、子ども会と連携・協力し、夏祭りや夕涼み会、ラジオ体操、敬老会、防災訓練などを継続して企画実施し、幅広い世代が参加交流できる場づくりに取り組みました。	○	町内自治会やスポーツ振興会、青少年育成委員会などが連携協力し、イベント(夏祭りやラジオ体操、敬老会、地区運動会など)を企画実施するなど、幅広い世代が交流できる場づくり取り組みます。	コロナウイルスの影響により、休止となっていたイベントの再開と併せ、既存の地域活動を継続するため、各種活動団体が、相互に連携・協力し、開催内容を充実させるなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んでいきたい。
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	地区部会や町内自治会、民児協、URなどが連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対し、「安心登録カード」や「緊急医療情報キット」などによる住民同士の見守り活動に取り組みます。	町内自治会や民児協、URなどが連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対して「あんしん登録カード」や「緊急医療情報キット」を継続して配布するなど、地域住民による見守り活動に取り組みました。また、いきいきサロン参加者への呼びかけ等を介して、高齢者への見守りに取り組みました。	○	地区部会や町内自治会、民児協、URなどが連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対して既存の活動を行う他、高齢者を対象とした支え合い活動の実施に向け、関係者と協議を行います。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけるとともに、町内自治会や民児協などと連携・協力して、地域の実情に沿った支え合い活動の実施に向け取り組んでいきたい。	
		地区部会や町内自治会、民児協などが千葉市と連携協力し、地域住民に対して災害時に備えて防災訓練や防災講座などを実施するなど、防災意識の向上に努めます。	町内自治会(自主防災)が地域住民に対して防災訓練や避難訓練を実施するなど、住民一人ひとりの災害時に備えた危機意識の向上に取り組みました。また、避難所運営委員会が区地域振興課と協力して、宿泊を兼ねた防災訓練を行うなど、防災意識の向上に取り組みました。	○	地区部会や町内自治会、民児協などが千葉市と連携協力し、地域住民に対して災害時に備えて防災訓練や防災講座などを実施するなど、防災意識の向上に努めます。	町内自治会を中心に防災訓練や避難訓練などの機会を活用し、住民に対して災害時に備えた危機意識向上に取り組むとともに、防災に関する講座を開催し、意識の向上に取り組んでいきたい。	

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和4年度）個票

地区部会エリア	基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和4年度の目標又は予定（4期）	令和4年度の実績	達成状況	令和5年度の目標又は予定	今後の課題と方針
緑が丘地区部会	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	あいさつから始まる地域との関わり	地区部会が学校やセーフティウォッチャー、町内自治会などと連携協力し、学校周辺及び通学路においてあいさつ運動を実施するとともに、防犯パトロールによる声かけを行うなど、地域内のあいさつ運動の浸透に努めます。	町内自治会や老人会が地域の防犯パトロールや、セーフティウォッチャーによる、宮野木小の登下校時の声掛けを行うなど、地域内のあいさつ運動に取り組みました。	○	地区部会が学校やセーフティウォッチャー、町内自治会などと連携・協力し、学校周辺及び通学路においてあいさつ運動を実施するとともに、防犯パトロールによる声かけを行うなど、地域内のあいさつ運動の浸透に努めます。	継続して、児童・生徒への登下校時や防犯パトロール時のあいさつ運動を行うため、セーフティウォッチャーや町内自治会などの関係団体と連携を図るとともに、活動を通じて、住民同士のあいさつ運動の浸透に取り組みで行きたい。
【人口・世帯数】							
16,833人・8,173世帯							
【町内自治会数】							
28町内自治会							
【高齢化率】	地域で活動している人・組織同士の連携・協力	地区部会や町内自治会、民児協、青少年育成委員会、スポーツ振興会等がイベント（緑ンピックなど）や交流会（民児協と子どもルーム交流など）の実施の際に相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	地区部会をはじめ町内自治会や民児協、青少年育成委員会、スポーツ振興会が、緑ンピック等のイベントや、民児協と子どもルームが行う交流会において、相互に連携・協力して取り組みました。	○	地区部会や町内自治会、民児協、青少年育成委員会、スポーツ振興会等がイベント（緑ンピックなど）や交流会（民児協と子どもルーム交流など）の実施の際に相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、既存の活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけるとともに、町内自治会、民児協、学校など地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めていきたい。	
【地域の特徴】							
柏台、長沼町の一部、宮野木町の一部、園生町の一部、あやめ台の一部をエリアとしている。あやめ台団地内の一街区、二街区はあやめ台小学校区、三街区は柏台小学校区と、団地内で学区が分かれており、旧来からの住民と、最近立ち始めた戸建て住宅に転入してくる新しい方が混在している。							
	地域住民の参加による見守り・支え合い	地区部会が町内自治会や民児協等と連携・協力して、高齢者等に対して日常的な声かけなどによる見守り活動やゴミ出し等、住民同士の支え合い活動に取り組みます。 また、「お互い地域で支え合うことで孤独死を防ごう」をテーマとした講演会を開催し、地域での見守り・支え合い活動の啓発に取り組みます。	地区部会が民児協、町内自治会と連携・協力し、地域の高齢者に対して、見守りや支え合いに関する講座（地区連協共催）を開催し、意見交換や情報共有に取り組みました。 また、一部の町内自治会において、単身・高齢者世帯に対しゴミ出し支援や見守り活動を行うなど、住民同士の支え合い活動に取り組みました。	○	地区部会が町内自治会や民児協等と連携・協力して、高齢者等に対して日常的な声かけなどによる見守り活動やゴミ出し等、住民同士の見守り・支え合い活動の拡充に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけるとともに、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。	

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和4年度）個票

地区部会エリア	基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和4年度の目標又は予定（4期）	令和4年度の実績	達成状況	令和5年度の目標又は予定	今後の課題と方針	
301（作草部・天台）地区部会	<p>2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり</p>	<p>地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流</p>	<p>地区部会や町内自治会、スポーツ振興会などが連携・協力して、「社協まつり（敬老会）」や「夏休みラジオ体操大納会」等を実施し、住民同士が交流できる場づくりに取り組めます。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、「社協まつり（敬老会）」や「ラジオ体操大納会」は休止となりましたが、代替事業として、都賀小学校と連携し、高齢者へしおり（1,200枚）や独居高齢者を対象にクリスマスカード（500枚）を作成・配布するなど、交流を図りました。</p>	○	<p>新型コロナウイルスの状況を踏まえ、工夫しながら「社協まつり（敬老会）」や「夏休みラジオ体操大納会」等、大人数での事業開催に向け取り組んでいきたい。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により一部の行事は実施に至らず苦慮していることから、コロナ以前の状況に戻すため、各種活動団体が、相互に連携・協力し、開催内容・方法などについて協議を行い、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んでいきたい。</p>	
【人口・世帯数】			<p>地域住民の参加による見守り・支え合い</p>	<p>地区部会が町内自治会・民児協と連携・協力し、高齢者等に対してゴミ出しや買物のお手伝いなど、身近な住民同士の支え合い活動に取り組めます。</p>	<p>地区部会が町内自治会・民児協と連携・協力して行う、「301地区支え合いの会」において、高齢者等を対象にゴミ出しや買物のお手伝いその他、多様なニーズに対応するなど、住民同士の支え合い活動に取り組めました。</p> <p>また、継続して2町内自治会において、「無事です」ステッカーを活用した安否確認や、行事の参加者へ声かけによる見守り活動に取り組めました。</p>	○	<p>引き続き、地区部会が町内自治会・民児協と連携・協力し、高齢者等に対してゴミ出しや買物のお手伝いなど、身近な住民同士の支え合い活動に取り組んでいきたい。</p>	<p>高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけるとともに、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。</p>
12,441人・5318世帯				<p>地域の情報の収集と発信</p>	<p>地区部会や町内自治会、民児協、各種活動団体・関係機関が相互に会議等に参加し、情報共有するとともに、広報紙などを通じて地域住民に活動等の情報発信に取り組めます。</p>	<p>コロナウイルスの影響により規模を縮小して、地区部会や町内自治会、民児協、各種活動団体・関係機関が相互に会議等に参加し、情報共有を行いました。</p> <p>また、広報紙（9月、3月発行）などを通じて地域住民に地域活動等の情報発信に取り組めました。</p>	○	
町内自治会数		<p>いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催</p>	<p>地区部会や町内自治会自主防災会などが連携・協力し、避難所開設訓練や防災講座等を実施するなど、地域住民に対して災害時に備えた防災に関する意識の向上に取り組めます。</p>		<p>地区部会や町内自治会自主防災会などが連携・協力し、避難所運営委員会の開催（7月）や避難所開設訓練（8月）を実施するなど、地域住民に対し防災に関する意識の向上に取り組めました。</p> <p>また、地区部会、避難所運営委員会を対象として、有事の際に迅速な対応が求められることから、赤十字奉仕団を講師として、心肺蘇生とAEDの使用について講習会を開催しました。</p>	○	<p>地区部会や町内自治会自主防災会などが連携・協力し、避難所開設訓練等や講座を実施するなど、地域住民に対して災害時に備えた防災に関する意識の向上に取り組めます。</p>	
16町内自治会			<p>3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり</p>	<p>地域の特徴</p>	<p>稲毛区の南西に位置する、中央区と若葉区が隣接する新旧の戸建て・集合住宅が立ち並ぶエリア。</p> <p>商業施設も充実しており、公共交通機関は千葉都市モノレールやバスの利用が可能で、利便性は高い。</p> <p>旧来からの戸建て住宅では高齢化が進行し、独居・高齢者世帯が増加している。</p>			
高齢化率		29.8%						

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和4年度）個票

地区部会エリア	基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和4年度の目標又は予定（4期）	令和4年度の実績	達成状況	令和5年度の目標又は予定	今後の課題と方針	
緑・黒砂地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターと連携・協力し、高齢者に対していきいきサロンや、ふれあい食事サービスを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターと連携し、高齢者向けにいきいきサロンを開催した他、健康講座などにより健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みました。 また、エリア内数か所の公園でラジオ体操を実施（3回）しました。	○	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターと連携・協力し、高齢者に対していきいきサロンや、ふれあい食事サービスを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、いきいきサロンの内容について参加者のニーズを把握して実施するとともに、介護予防に関する情報を共有し、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んでいきたい。	
【人口・世帯数】								9,261人・5,043世帯
【町内自治会数】								7町内自治会
【高齢化率】	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	あいさつから始まる地域との関わり	学校（セーフティウォッチャー）と各種関係団体が連携し、一定期間に通学路や学校周辺、地域内であいさつ運動を行い、子どもから大人までが顔なじみになるよう関係づくりに取り組みます。	町内自治会や学校（PTA）と連携し、一定期間に、通学路や学校周辺であいさつ運動を行うとともに、見守り隊によるあいさつ（声掛け）や、月1回、学校からのお知らせを自治会回覧で配布するなど、子どもから大人までが顔なじみになるよう、あいさつ運動への協力に取り組みました。	○	学校（セーフティウォッチャー）と各種関係団体が連携し、一定期間に通学路や学校周辺、地域内であいさつ運動を行い、子どもから大人までが顔なじみになるよう関係づくりに取り組みます。	引き続き、町内自治会、学校、セーフティウォッチャー等と連携し、あいさつ運動の拡充を図るとともに、地域のイベントや広報媒体等を通じて広報啓発を行い、あいさつ運動が地域へ浸透するように取り組んでいきたい。	
【地域の特徴】								JR線を境に、南に走る国道357号線までの緑町、黒砂、黒砂台1丁目～2丁目をエリアとし、中心を京成線が東西に走っている。 文教施設があり、または隣接していることもあり、日中の学生数、またエリアにも学生が点在し居住しているのも特徴である。
【地域の特徴】								地域交流・多世代交流
【地域の特徴】	3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	地域住民を地域で守る取り組み	町内自治会や民児協、各種活動団体が連携・協力して防犯活動協力者を確保し、自転車に防犯ステッカーを掲示するなど、地域内の防犯活動に取り組みます。	町内自治会や青少年育成委員会、民児協が連携・協力し、地域全体で納涼祭（8月）や敬老会（9月）、福祉バザー（11月）を実施するほか、小学生との交流会に参加するなど、住民同士が交流できる場づくりに取り組みました。	○	町内自治会や民児協、各種活動団体が連携・協力して防犯活動協力者を確保し、自転車に防犯ステッカーを掲示するなど、地域内の防犯活動に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけるとともに、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。	
【地域の特徴】								町内自治会や民児協、各種活動団体が連携・協力して防犯活動協力者を確保し、自転車に防犯ステッカーを掲示するなど、地域内の防犯活動に取り組みます。
【地域の特徴】								民生委員活動を通じて、高齢者等に対し声かけによる安否確認や、一部の町内自治会が、週2回の防犯パトロール等、見守り活動に継続して取り組むとともに、「防犯ステッカー」を防犯活動協力者の自転車に掲示するなどして、地域内の防犯活動に取り組みました。

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和4年度）個票

地区部会エリア	基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和4年度の目標又は予定（4期）	令和4年度の実績	達成状況	令和5年度の目標又は予定	今後の課題と方針		
小中台西地区部会	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	あいさつから始まる地域との関わり	地区部会が町内自治会・学校・青少年育成委員会と連携・協働し、あいさつをテーマにした標語の作品募集を行い、「東西社協まつり（10月）」や広報紙などで作品の広報啓発に取り組みます。 また、地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して、町内に掲出するステッカー等により、地域住民に「あいさつ・声かけ運動」の浸透に取り組みます。	地区部会が近隣校（小中台・小中台南・園生・柏台小）の協力を得る中、あいさつをテーマにした標語作品を募集し、「東西社協まつり（小中台公民館）」で優秀作品の展示会を行うとともに、あいさつ運動のステッカーを作成して町内自治会の掲示版に掲示するなど、あいさつ運動の浸透に取り組みました。 また、セーフティウォッチャー（小中台、小中台南、園生小）が青少年育成委員や民生委員と連携・協力して登下校時のあいさつ運動や、町内自治会が防犯パトロールを兼ねてあいさつ・声かけ運動に取り組みました。	○	地区部会が町内自治会・学校・青少年育成委員会と連携・協働し、あいさつをテーマにした標語の作品募集を行い、「東西社協まつり（10月）」や広報紙などで作品の広報啓発に取り組みます。 また、地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して、町内に掲出するステッカー等により、地域住民に「あいさつ・声かけ運動」の浸透に取り組みます。	引き続き、町内自治会、学校、セーフティウォッチャー等と連携し、町内自治会が防犯パトロールを兼ねたあいさつ・声かけ運動の拡充を図るとともに、地域のイベントや広報媒体等を通じて広報啓発を行い、あいさつ運動が地域へ浸透するように取り組んでいきたい。		
【人口・世帯数】			21,342人・12,537世帯	地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	地区部会が町内自治会や民児協、各種活動団体と連携・協力して「東西社協まつり（10月）」などイベントを企画実施する他、自治会単位で開催する祭やイベントなどを通じて住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。	地区部会が町内自治会や民児協、商工会、学校などと連携・協力し、「東西社協まつり（10/30小中台公民館）」や町内自治会ごとに夏祭り等を開催するなど、住民同士が交流できる場づくりに取り組んだ。	○	地区部会が町内自治会や民児協、各種活動団体と連携・協力して「東西社協まつり（10月）」や「茶話会（3月）」などイベントを企画実施する他、自治会単位で開催する祭やイベントなどを通じて住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけるとともに、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。
【町内自治会数】			18町内自治会		地区部会が町内自治会や民児協と連携し、一人暮らし高齢者等に対して日常的な声かけなどの安否確認等による見守り活動に取り組みます。	7町内自治会が一人暮らし高齢者に対して訪問による声かけや防犯パトロール等により安否確認の見守りを継続的に取り組んだ他、地区部会が町内自治会や民児協と連携・協力し、いきいきサロン（6会場）の活動を介して高齢者等の見守りに取り組みました。 また、一部の自治会で平常時のほか、被災時など緊急時の見守りとの2パターンを想定した見守り活動に取り組みました。	○	地区部会が町内自治会や民児協と連携し、一人暮らし高齢者等に対して日常的な声かけなどの安否確認等による見守り活動に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけるとともに、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。
【高齢化率】		24.4%	地域住民の参加による見守り・支え合い			地区部会が町内自治会を中心とした小中台1丁目から9丁目のエリア。新・旧の戸建て住宅とマンションが混在し、駅周辺のマンションには若い世代が多く居住しているが、JR稲毛駅から距離のある旧来からの集合住宅では高齢化が進行している。			
【地域の特徴】									